

第3回 JST未来社会創造事業シンポジウム

社会課題は数理科学で解決できる!?

企業における 数理研究

2024

2/3

SAT

13:00 ▶ 17:00

Zoom ウェビナー ハイブリッド
名古屋大学 野依記念学術交流館

参加登録



<https://x.gd/V6jmB>

主催 JST未来社会創造事業「共通基盤」領域 本地研究課題

「未来社会を創出する4次元トポロジカルデータ解析数理基盤の開発」(研究代表者 / 坂上貴之)

共催 九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所・理化学研究所 iTHEMS

後援 株式会社 理研数研 京都大学 大学院理学研究科 附属サイエンス連携探究センター (ISACRA)

コーディネート 名古屋大学大学院 理学研究科理学専攻 異分野融合生物学研究室 / iBilab

趣旨

昨年度に引き続き、数理科学研究による社会課題の解決の可能性を探るシンポジウムを開催します。過去2年は「数理研究の社会実装―課題と克服」「企業課題と数理研究をつなぐ」というテーマで行いました。

今年度は、具体例に目を向けて、「企業における数理研究」のタイトルを設定し、企業における数理を用いた活動について紹介をいただくことを目的としています。そこで、現在、企業で数理を使った活動をされている研究者、あるいはかつて企業で数理研究をして大学に研究の場を移された研究者など、多様な経歴をお持ちの先生方に講演をお願いしています。くわえて、近年は数学の大学院生企業活動と結びつける活動も数多く行われています。こうした活動も参加者のみなさんと共有することで、今後の企業連携を通じた社会課題の数理科学のあり方について意見交換をするパネルセッションを行います。

このような活動に興味のある企業研究者や数理科学者の皆様の積極的な参加を心よりお待ちしております。

プログラム

- 12:45 開場 / Zoom開始
- 13:00 オープニング 坂上 貴之（京都大学 大学院理学研究科）

招待講演

- 13:05 - 13:35 数理科学×コンピューターサイエンス で社会課題へ挑戦する試み
星野 力（BIPROGY株式会社 総合技術研究所）
- 13:40 - 14:10 位相的データ解析と機械学習
池 祐一（九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所）
- 14:15 - 14:45 量子コンピュータの早期実用化に向けた新量子計算アーキテクチャの研究開発
赤星 友太郎（富士通株式会社）

休 憩

- 15:00 - 15:20 「今数学」企業に於ける研究インターンシップc-engineテーマの変遷と学生の動向
池田 博榮（九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 兼
学術研究・産学官連携本部 / 一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会）
- 15:20 - 15:40 数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会
小箇 英雄（早稲田大学 基幹理工学部 / 東北大学 数理科学共創社会センター）
- 15:40 - 16:00 多様なキャリアパスの構築について―ジョブ型研究インターンシップを例に―
坂田 健（文部科学省 研究振興局 基礎・基盤研究課）オンライン講演

パネルディスカッション

- 16:00 - 17:00 「数理科学における産学連携研究と博士人材育成」

企業における
数理研究